



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

vol.20 2025年3月号
(年2回3月、9月発行)

HP QRコード



発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

HP

<https://pandahouse.org>

facebook

<https://facebook.com/npo.panda.house>

E-mail

office@pandahouse.org

パンダハウスを 見続けた30年

いわき市 陽田 秀夫



たいと言っている患児のお母さんがいる。相談に乗ってやってくれませんか。」というもの。

私は1990年から骨髓バンクの活動を通じて菊田先生にはあらゆる局面でご指導をいただいていた。「喜んでお手伝いします。」と答えたのが、私とパンダハウスとの永いお付き合いの始まりとなった。あまり力になれなかったと反省しているが…。

桜

新しくなったパンダハウスの建物には6坪程度の小さな庭がある。ここに植えられた桜が毎年美しい花を咲かせるという。増築棟のリビングと改築棟の多目的ホール、そして渡り廊下からも見渡せる日当たりの良い最高の場所から子どもたちを見守っているかのようだ。

この桜は、全国骨髓バンク推進連絡協議会(骨髓バンクの普及啓発と血液難病の患者さんを支援する全国組織)が、骨髓バンクによる骨髓移植が1万例、さい帯血バンクによるさい帯血移植が5千例を2008年12月にほぼ同時に達成できたことから「全国一斉ありがとうキャンペーン全国リレー記念植樹」と銘打って全国各地で記念植樹を行った桜である。

植樹の場所は全国各地の会員に任せられ、他県においては病院の緑地等に植樹した例が多い中、福島県ではパンダハウスにお願いし実現したもの。

因みに2024年12月末には、骨髓バンク29,236例、さい帯血バンク25,100例である。

一人の母の想い

94年頃だったと思うが、福島県立医大小児科の菊田敦先生から電話をいただいた。「長期入院している家族のための宿泊施設をつくり

主婦パワー

ここでは紙面が足りず、省略します。活動を開始してからの「主婦を中心とした行動パワーはすごかった。」とだけ記しておきます。

土地問題

パンダハウスの敷地をどこにするかについての条件は、①医大病院に近いこと、②しかし医大病院が見えないこと、③そして安価であること。等とても厳しいもので、当初から具体的選定は先送りのままでした。

ところが、最終局面で急転直下、福島県住宅供給公社の小宅理事長にパンダハウスの主旨に賛同をいただき現在の場所に決まったと聞いています。すべての条件を満足する敷地でした。

偶然と好運

パンダハウスは幾つかの偶然と好運によって実現できたと言っても過言ではありません。それは会員の情熱と行動力、スタッフ・ボランティアの献身的な支えがあったから呼び込めた偶然と好運だったのだと思います。

今は増築・改築を行い立派なハウスに成長しています。さまざまな困難を乗り越えて今後も力強い歩みを期待しています。

令和7年度事業計画

(総会資料より抜粋)

(1) 事業実施の方針

- ①病と闘う、病と生きる子ども及び家族の多様化したニーズに応えられるように、地域連携の基盤を作りながら、ハウスの宿泊利用と相談支援の充実を継続する。
- ②長期的に安定した運営を継続できる体制作り及び広報活動の充実を図りながら活動を継続する。

(2) 事業の実施に関する事項

- ①パンダハウスの円滑な管理運営事業(事業費 9,100千円)
 - ・ハウス屋内外の清掃とリネン交換、花壇の整備など
- ②患児とその家族の望むケアを実現するための援助・支援事業(事業費 4,600千円)
 - ・利用者へのアンケートを実施
 - ・入院中の子どもへクリスマスプレゼントを配布
 - ・絵本「くまとなかまたち」寄贈(福島県立医科大学附属病院)
 - ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業等への協力
 - ・相談事業(地域連携の基盤作り)
 - ・福島アライン交流会(全国医療的ケアアライン)
- ③パンダハウスの必要性及び重要性を示すための啓蒙に関する事業(事業費 800千円)
 - ・ニュースレター発行(年2回)

- ・関係機関のイベントへ参加し、活動をアピール(リレーフォーライフ、ふれあい広場、市民活動フェス等)
- ・SNSの有効活用
- ④アドバイザー・支援者その他関係機関等との意見交換に関する事業(事業費 20千円)
 - ・アドバイザー会議、支援者との懇談、他団体主催講座等への参加など
- ⑤資金調達に関する事業(事業費 200千円)
 - ・チャリティーバザー、助成金申請、募金箱設置拡大、維持運営のための寄附金集め
 - ・オンライン寄附システムの導入
- ⑥その他前条の目的を達成するために必要と認められる事業(事業費 42千円)
 - ・ボランティア交流会、サポーター募集説明会の実施
 - ・オンライン茶話会の継続
 - ・ボランティア体験の実施(毎月第1土曜日)

【役員体制】

任期:令和6年12月1日~令和8年11月30日

理事長 山本 佳子(再任) 副理事長 古溝 陽子(再任)

理事 石井佳世子(再任) 理事 伊藤五十子(再任)

理事 千葉 篤子(再任) 理事 齋藤 瞳(再任)

監事 齋藤 敏昭(再任) 監事 梅津 茂巳(新任)

絵本プロジェクト

「くまとなかまたち～さくらさけ」 ついに完成!



病院で闘病生活をしていた当時中学生と高校生4人が作成した作品を絵本にするプロジェクトを、作者である子どもたちと一緒に立ち上げて取り組んできました。

多くのご支援をいただき、2024年

10月末に絵本として完成することができました。

2024年11月20日、福島県立医科大学附属病院で闘病する子どもたちに力を届けるため、小児病棟等に贈呈しました。

また、絵本を多くの方にご覧いただくために、日本小児理学療法学会学術大会(福島県立医科大学駅前キャンパス)と、桜の聖母短期大学の学園祭にて、絵本の展示をして紹介する機会をいただきました。ありがとうございました。

当会HPに「デジタル絵本」と「作者の想い」を掲載



当会ホームページに、絵本をデジタルブックとして掲載しました。「作者の想い」も載せていますので、あわせてご覧ください。作者さんと同じような境遇にある子どもたちやご家族をはじめ、たくさんの方に観ていただきたいと思います。

「デジタル絵本」と「作者の想い」はこちらから▶



▲ホームページトップ「くまとなかまたち」をクリック

活動報告

2024年9月～2025年2月

『パンダハウスを育てる会』の活動をアピールすると共に、 多くの皆さんから寄贈された手作りバザー品でチャリティーバザーを出店しました。

2024年9月29日(日)

第9回 川内の郷かえるマラソン大会

この大会は川内優輝選手と走るマラソン大会です。当会は第1回から広報活動とチャリティーバザーを出店しています。

全国の皆さんからお寄せいただいた手作りバザー品を車いすに積んで元気いっぱい活動してきました。



2024年10月20日(日)

たざわさん'ず感謝祭

風は強いものの日差しに恵まれ、チャリティーバザーを出店する事ができました。感謝祭では地元の新鮮な野菜を使ったも煮が振舞われ風をもろともしない熱気あふれる感謝祭となりました。



2024年12月21日(土)

パンダハウス&ふくしまパンダ小児科 チャリティーバザークリスマス会開催

当会はチャリティーバザーと「くまとなかまたち」絵本展示を開催しました。ホスピタルクラウンピッピさんも参加していただき、すてきなバルーンで子どもたちも大喜び!ご家族はレモネードスタンドでホットー息の時間でした。



2024年10月19日(土)

第37回 ふれあい広場 (主催: 福島市社会福祉協議会)

道の駅ふくしまにて開催されました。前日から不安定な天気となり心配されましたが雨が降ることもなく、訪れた多くの方々に当会の活動をアピールすることができました。

パンダの着ぐるみで応援してくださいましたボランティアさん、バザー品販売のお手伝いをしてくださったボランティアさん、本当にありがとうございました。



ボランティアの皆さんに支えられ活動しています

2024年12月7日

花壇の花植えと外回り清掃を実施

「パンダハウスでボランティアをしませんか？」グループによる花壇の花植えとハウス外回りの清掃を実施しました。

このグループは盲目のランナー星純平さんが中心となり、ハウスのボランティアをしていただきます。今回はなんと22名の皆さんにお手伝いをいただきました。ありがとうございました。



2024年12月7日～12月28日

恒例のクリスマスツリーを設置



パンダハウス内にクリスマスツリーを設置しました。また、玄関にはクリスマスリースと雪だるまが置かれ、利用者さんに季節を楽しんでいただける装飾となりました。今回も東邦銀行シーガルテニスクラブの皆様にご協力をいただきました。



2024年10月28日

入院中の子どもに贈るクリスマスカード作り

福島南高校の皆さんにクリスマスカードを作ってくださいました。前回のワークショップに続き、入院中の子どもに贈るクリスマスカードを生徒の皆さんにお願いしました。記載するメッセージに気を配りながら、思い思いの心を込めてカードに書き込んでいただきました。ご協力いただきました生徒の皆さん、またご指導いただきました先生、福島キヤノン(株)社員様ありがとうございました。



2024年12月15日

ボランティア感謝デーを開催しました

パンダハウス改築棟ほーるにて、日頃からお手伝いをいただいているボランティアさんに感謝するイベントを実施しました。

山本理事長の挨拶ののち、参加者のパートナーや子ども・孫へのクリスマスカード作りを体験していただきました。想いのこもったカードが完成しました。



昼食はパンダハウス特製の豚汁とおにぎりで、懇親を深める時間となりました。

一番の盛り上がりはプレゼント抽選会だったでしょうか(笑)

2024年12月3日

入院中の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈りました

福島県立医科大学附属病院に入院中の子どもたちにパンダハウスからクリスマスプレゼントを届けました。「どれにしようかな?」「少し選ぶ時間ください!」等子どもたちは興味津々な様子でお気に入りのおもちゃを選んでくれました。



クリスマスカード作り

真剣な眼差しで、おにぎりを握っています



「みんなのほーる」にてポッチャ体験

2024年11月13日に、須賀川支援学校医大校父母と教師の会の皆様が、交流とリフレッシュを目的に、みんなのほーるでポッチャを体験されました。保護者の皆様と先生方が和やかに過ごされていました。





利用者さんの声

子どもの面会に来るのに往復4時間かかるため、土・日を中心に大変お世話になりました。いつも清掃が行き届いていて、適温で迎えていただけて、スタッフさん、ボランティアさんの温かさを感じました。タオルやアメニティ類、ボディソープ等、荷物が少なく済むのも大変ありがたかったです。安く宿泊することができ、清掃もお願いできるので、NICUに入院する子どもの面会に専念することができ、本当に助かりました。片道2時間の運転や長時間の面会后に疲れた体をいやせるマッサージチェアもありがたかったです。いやされました。お気に入りです。ふり返れば合計23泊、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



初めての利用です。手ぶらで来て色々必要な物がそろっていてとても助かります。また利用させていただきたいと思います。



3回目の利用です。少しずつ施設にも慣れ、快適に使わせていただいています。入院中の子どもは、まだまだ外出困難ではありますが、いつか外出許可がでたら、まずはパンダハウスに行きたい!!と話しています。その時は、ぜひ、親子で利用させていただきたいです。



とても館内がきれいで居心地が良かったです。スタッフの方も優しく接していただきました。ありがとうございました。



赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた 福祉活動応援キャンペーン

「重症児等とその家族に対する支援活動応援助成第3回助成」を活用しました。

第1回助成で新型コロナウイルス感染対策として、キッチン水栓をタッチレスや短期棟居室の除加湿空気清浄機を導入しました。令和6年4月からの第3回キャンペーンに応募し支援を受けることが決定しました。

感染症が心配な利用者が多いことから「短期棟みんなのへや」「長期棟みんなのほーる」にエアドッグ、長期棟居室に除加湿空気清浄機を設置しました。また、非常時に備えポータブル電源セット、ガートル台などを購入しました。

太陽光でも充電できます

重症児のお泊りも安心

身体が不自由なお子様でも安心



ポータブル電源セット



ポンプ架付ガートル台



プレイマット



みんなのへや
エアドッグ



長期棟居室
除加湿空気清浄機



みんなのほーる
除加湿空気清浄機



公益財団法人 遠藤医療福祉助成財団 令和6年度助成事業助成金

公益財団法人遠藤医療福祉助成財団の令和6年度助成事業助成金を活用させていただき、高額で手がでなかった除雪機とソファを購入する事ができました。



ソファ

パンダハウスは増改築を行い敷地面積が広く、冬の降雪時期は除雪に一苦労していました。助成金をいただけることとなりエンジン式除雪機を導入しました。また、利用者家族の憩いの場(みんなのへや)にあるソファの傷みがひどくなっていましたが、交換することができました。



除雪機



除雪機



編集後記

福島県立医科大学附属病院みらい棟5階に募金箱を設置していただいております。

先日、ご寄附いただきました浄財を頂戴させていただきました。

なんと!お年玉袋が2枚入っていました。入院されている子どもさんご家族の想いが書かれたものでした。

自分のために使いたい気持ちを抑え、当会にご寄附いただき本当にありがとうございます。ハウス維持のため、大切に使用させていただきます。



ボランティアさん 募集中

パンダハウスの内外を清掃して下さるボランティアを募集しています。

活動時間 10:00~12:00

- 利用者の居室、浴室、トイレ、リビングの清掃(毎日)
- 花壇の整備 花植え(6月・11月)、除草(4月~11月)
- 駐車場付近の草刈り(6月~10月)

パンダハウスは365日ご利用いただける施設です、活動日についてはご相談に応じます。

賛助会員への加入とご寄附のお願い

賛助会員年会費

個人：(1口) 3,000円(1口以上)
団体：(1口) 10,000円(1口以上)

年会費・寄附金振込先

郵便為替口座
口座記号番号：02200-9-110330
加入者名：認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会

*他金融機関から、郵便振替の場合
店名：二二九(二ニキュウ)店
当座預金 0110330